

令和元年度補正・令和二年度補正

ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金

ことぶき歯科医院

- **事業**
口腔内スキャナー導入による、
歯科診療におけるデジタル化・感染対策への取り組み
- **対象類型**
ものづくり技術
- **導入機械装置**
DI プライムスキャン

経営理念

歯科口腔保健の向上を図り、生涯にわたる口腔健康管理の実現に努める

益田市内の病院、福祉施設でも訪問歯科治療 20年前からレントゲンのデジタル化など先進的な取り組み

曾祖父が医科診療所を開業し、祖父、父へと地域医療に従事。1991(平成3)年に齋藤産科医院に併設の形で、息子の齋藤寿章氏が「ことぶき歯科医院」を開業した。同歯科医院のほか、市内6か所の病院や福祉施設にも訪問し、入院患者や入所者に歯科医療を提供している。

20年前から歯科診療においてデンタル・レントゲン撮影法や顎全体を撮影するパノラマ撮影法などのデジタル化を取入れてきたが、次なる段階は口腔内スキャナー。このスキャナーで得られた3次元的数据を技工所へ送信。詰め物や冠の技工物の外注は模型を介することなく作製することが可能となる。そのため、石膏模型を作製することもないため、廃棄物の量も減らすことができる。

患者にとっても、精度の高い光学印象[※]は充填物や歯冠と歯との隙間が小さくなり、むし歯が再発症するリスクが低くなる。

また、従来の口腔内の印象採得では印象物への唾液汚染は避けられず、印象物の消毒作業をしなければならぬ。これに比べ、口腔内スキャナーを用いた印象採得では唾液に触れる部分が少なく、消毒作業も容易となり、感染症予防が強化できる。

※印象…口腔内の型取り

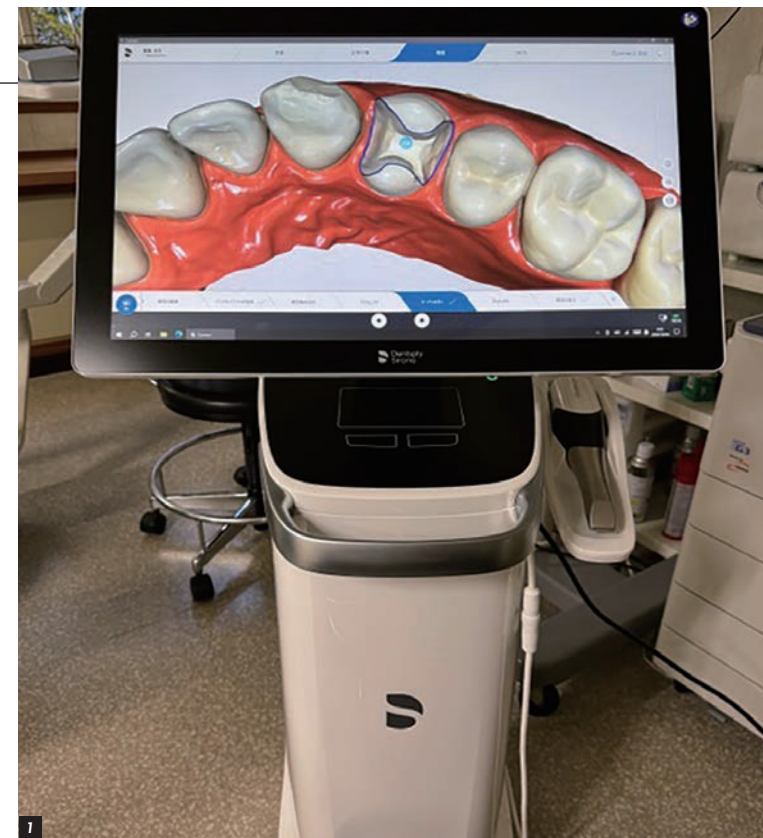
新機器導入で印象採得時間が50分から10分に短縮 3D画像で患者もより納得いく治療へ

今回導入したデンツプライシンロナ社のプライムスキャンは従来の印象採得に比べ、作業時間が大幅に短縮される。これまでの方法だと、印象トレーの用意→印象材の練和→トレーへの印象材の盛り付け→トレーを口腔内に挿入して硬化を待つなどの過程を経て、さらに印象面に注入した石膏の硬化を待つ。こうした一連の過程を終えるまでに約50分かかる。しかも、技工物を技工所へ送り届けなければならない。それがスキャナー導入によりわずか10分で作業をし、技工所へデータを送信すれば完了となる。

導入したスキャナーは撮影範囲が広いので、短時間でより多くの



院長 齋藤 寿章



1.導入した口腔内スキャナー本体
2.口腔内スキャナーを使った作業風景
3.口腔内スキャナーを使って作製された技工物



データが収集でき、最奥部の臼歯までアクセスできる。セルフヒーティング機能を内蔵しているため、口腔内でカメラが曇らずにスキャンができ、鮮やかさと精度を高めてくれる。

3D画像で印象時の状態が簡単に把握できるため、患者に対し分かりやすい説明が可能となり、医師と患者の双方が納得のいく治療ができるようになった。

デジタル光学印象で得られたデータはクラウド上で保存も可能であり、保存スペースも不要。1983(昭和58)年の島根県西部を襲った豪雨災害で父親が経営していた医院のカルテ文書やパソコンのデータはすべて廃棄となった経験から「あの被災体験は鮮烈。災害への備えは不可欠」と齋藤院長は強調する。

デジタル光学印象の保険適用は小臼歯8本だけ ニーズの高まりにより適用拡大に期待

デジタル光学印象は作業効率の大幅アップ、精度の向上による再治療の減少、感染症予防の強化、廃棄物の削減、災害時のデータ保存など、医療提供側にとっても患者側にとってもメリットが多い。ところが、ものづくり補助金申請時の2021(令和3)年は保険適用となっていなかった。それが、2024(令和6)年6月から一部が適用されるようになったが、今のところ対象は小臼歯の8本だけ。

自歯と同じ色調の技工物が作製されるため審美性も高まり、金属アレルギーにも対応できるうえに、機器がコンパクトになれば歯科訪問診療などにも活用できる。今後、ニーズが高まっていけば保険適用の範囲が広がっていくはずと期待をかける。

Company Data

ことぶき歯科医院



外観

代表者名 齋藤 寿章
設立年 1991年(平成3年)
従業員数 7名
主たる業種 医療業
本社 〒698-0021 益田市幸町4-71
電話 0856-24-0770
FAX 0856-31-0285